

2014年9月7日 主日礼拝

説教「ヨセフの物語④ 神さまのすばらしい
計画」

創世記 45 章 1-15 節

【神さまの計画】

エジプトの宰相となったヨセフ。ききんは全世界におよび、穀物を買いに来た兄たちは顔を地につけてヨセフを伏し拝みます。かつての夢の実現。もし兄たちが、最初からヨセフをリーダーとして認め、育てていたなら、夢はもっと別なかたちで実現していたでしょうが。

けれども兄たちは、目障りなヨセフを売って、自分たちの視界から追い出しました。ヨセフにも欠けがありました。兄たちの心を思いやり、リーダーとして受け入れられるように忍耐強く仕えることができなかったのです。

しかし、神さまは、不思議。兄たちの悪を用いて、ヨセフを訓練し、ご自分の計画をなしとげられます。ヨセフは今、さまざまな経験を積んで兄たちに向き合います。成長したほんとうのリーダーとして。

【ほんとうの和解】

ヨセフは、兄たちに自分を明かしません。兄たちとのほんとうの和解を願っているからです。そのためには、兄たち自身がねたみなどの心の暗やみに支配されて生きてきたことに気づき、そこから自由になる必要があったのです。

そのためにヨセフは、兄たちをスパイと呼ん

で、人質をとり、末の弟ベニヤミンを連れて来させます。ひそかに泣きながら、和解への熱心ゆえに。さらに、ベニヤミンに銀の杯を取ったという濡れ衣を着せますが、ユダが必死で食い下がるのを見て、兄たちが変えられたことを知ります。そして、ついに自分がヨセフであることを明かします。勝ち誇るためでなく、復讐のためでもなく、和解するために。

【神さまのすばらしい計画】

神さまは兄たちの罪をも良きことと変えてくださいました。兄たちが悪のままに、とどまることを、良しとされなかったのです。そのために、ヨセフを用いてくださった。それは、ききんからイスラエルを救うためばかりではありません。そうではなくて、彼らが真に和解することができるために。今までとは違う質のいのちに生きることができるために。そのために、ヨセフを訓練し、ヨセフに、自分を傷つける者をも覆って愛する深い心を与えました。それが神さまの計画。愛し合い、覆い合う神の民を造り出すことが神さまの計画なのです。神の民、イスラエルの創出という大きな神の計画のかげに、見過ごしてはならないもう一つの計画がありました。ヤコブ一家の家族の和解という計画。これは、異なる二つの計画ではありません。小さな計画は大きな計画のかくことのできない一部です。神の民は、神さまの和解を受け入れ、たがいの和解に生きる民だからです。

【ヨセフ、キリストのかたち】

なぜ、ヨセフは、兄たちようでなかったのでしょうか？それは、神さまがヨセフとともにおられたからです。神さまが、兄たちとはともにおられなかったのではありません。でも、彼らは神さまが、ともにおられないかのように生きました。私たちは、よくこう考えます。信じる者とともに神さまはいてくださる、と。でも、ほんとうは、神さまは、すべての人とともにいてくださるのです。多くの人は、そのことに気がつかず、勝手に、神さまはともにいてくださらない、と思っているのです。

ヨセフは、神さまがともにいてくださることを知っていました。アブラハムからイサク、イサクからヤコブへ、そしてヤコブはヨセフに、聖書の物語を語り継ぎました。ヨセフは聴いた言葉を思い出し、思いめぐらして生きました。すべての人をあわれむ神さまを思って生きたのです。こうして神のみ言葉が、ヨセフを作りました。

ヨセフは、よく主イエスに似ていると言われます。苦難の中で、愛で覆って生き、そしてどこまでも仕えるリーダーだからです。

神さまは、私たちの間にも真の和解をもたらしてくださることができます。神さまとともに歩き、たがいをどこまでも覆い抜くことを決心した私たちに、不思議なみわざをなしてくださいからです。